

箱根組ニュース

第327号 2020年3月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入つて山に登りましょう！

田村藤子さんを偲んで日和田山に13人。山頂で黙祷をし、巾着田で献杯をしました。

2月16日(日)、昨年12月16日

に亡くなった新潟柏崎の田村藤子さんを偲んで日和田山に行つてきました。午前中は途中から涙雨でしたが、昼食の巾着田では雨が上がり日和田山を望みながらの追悼のパーティーになりました。

西武池袋線池袋駅発7時5分の快速急行長瀬行きに乗車。乗り換えなしで高麗駅に8時着。

降り立ったのは、宗像夫人、川名、佐藤夫妻、有倉、創立当時参加していた布施、神山、谷田、和田、及川、星野、岩岳、戸丸の13名。

高麗駅前で自己紹介とそれぞれが田村さんとのエピソードなどを話し箱根組の30年近い歴史を思い返した。

身支度、ストレッチをして体をほぐす。8時43分、歩き出す。田村さんとも何度も来たこの道は懐かしい。駅を左に回り込み、線路沿いを右側に進むと左側の踏切を渡る。台の信号を渡り車道の右側を進むと右に路地が現れる。角にある立派な屋根の付いたものは、台の高札場。江戸時代に法度などが張り出された場

所だ。

8時50分、ここを右に入つてゆく。昔懐かしい里山の道だ。家の前によく猫がいたが今日は見当たらない。

8時52分、突き当りのようになると大きな石の碑がある、水天の碑だ。天保年代に干ばつや洪水を鎮めるために建てられたようだ。

ここで道は直角に左に曲がる。このあたりのあぜ道や土手など懐かしい田舎の風景だ。目の前にはこれから登る日和田山の姿が見える。金毘羅神社前の岩場も見えている。車道に出て、高麗川の鹿台橋を渡る。

8時57分、高麗本郷の信号で左に曲がる。県立奥武蔵自然公園の看板がある。9時、日和田山の標識に沿って左に曲がる。民家の間を進んでゆくと公園のような突き当りになり。日和田山登山口の看板の矢印が右に向いている。

その右角に、田部井淳子さんの碑が出来ていた。エベレストの形を模しているようだ。「日和田山からエベレストまで」と書いてあつて、ご主人とよく日和田山



に登っていたらしいことが書いてあった。ここがエベレストへの出発点かもしれない。

少し右に行くと、いよいよ登り始めるがまだ公園のような感じだ。ジグザグに登ってゆく。

9時20分、石造りの大きな一の鳥居着。鳥居の先は道が左右に分かれている。右は女坂、左は男坂方面。女坂は川名リーダー以下6名。男坂は及川リーダー以下7名と二手に分かれて出発。女坂は緩やかに登ってゆく。

池袋の打ち上げ残金 20円を会計に入れまてゆく。

現在の収支	
繰越入金	37898 円
	20 円
支出	
印刷費	1000 円
コピー代	400 円
現在高	36518 円

切手残数	
82円切手	107枚
2円切手	107枚
40円切手	131枚

男坂方面は最初少し下つてゆく。9時25分、右に男坂の分岐、左は見晴らしの丘、男岩、女岩方面。右に登ってゆく。階段状の岩を過ぎると木の根が張り巡らされた上りを超える。その先は大きな岩の間を縫うように進む。黄色い丸

印と矢印がアルプスを歩いている様な気分にくれる。三点支持で段差の大きい急な岩を超えると二の鳥居が見える。

9時45分、鳥居前で振り返ると巾着田が見えた。本当に巾着の形をしている。高麗川が地形の間を巾着の形で回り込んでいるのだ。

両チームが合流。雨が少し強くなっている。神社の屋根の下でほとんどの人が雨具を付ける。傘の人も数人。

10時、再出発。神社の右側から自然林の坂道を登ってゆく。少しなだらかな道を進むと二又になり右日和田山とある。左に回り込むように登ってゆくとあつという間に山頂。

10時10分、305mの日和田山到着。涙雨の中、記念撮影。そして田村藤子さんに黙祷を捧げる。

10時20分、下山開始。ルートは高指山方面に西に進む。少し急な道を降りるとすぐに左に戻る道があるがこれ

3月15日(日) 丹沢の盟主 塔ノ岳 (1491m)

レギュラーコース 歩行5時間50分
(上り3時間半 下り2時間20分)

小田急線渋谷駅からバスで大倉へ、大倉尾根で塔ノ岳を目指します。下山は同じ道を戻ります

○持ち物 軽アイゼン、スパッツ、お弁当、飲料水、非常食、雨具、傘、カップ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ちり紙(ロールペーパー)、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他

●申し込みは 3月13日(金)までに

集合 3月15日(日)

小田急線新宿駅 6時21分発
急行小田原行き(前から3両目)

途中駅発 代々木上原 6:27 下北沢 6:29
経堂 6:33 成城学園前 6:37 登戸 6:41
向ヶ丘遊園 6:43 新百合ヶ丘 6:49
町田 6:57 海老名 7:10

渋谷駅 7:35着(バス乗り換え)
渋谷駅北口 7:50発 大倉行き
交通費片道
新宿～渋谷 690円 渋谷～大倉 210円

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi

を通過し、突き当りを左に下ってゆく。
初めて通る道だが、これが男岩、女岩方面（ロッククライミング練習場方面）。

10時53分、左側に大きな岩が現れる。こんな大きな岩がこんなところにいる。驚きがあった。それもここが岩のクライミングの有名なグレンデということも初めて知りました。

下草の美しい緑の樹林帯を下りて行く。とても大きな太い藤の蔓にも驚かされる。初めて下るこのルートの良さに感動しながら進む。

11時22分、日向区自治会館横に出る。高麗川沿いを巾着田目指して歩く。

11時半、朝の高麗本郷信号前に着く一周回ってきたのだ。路地を入って巾着田入り口に到着。

11時43分、巾着田の真ん中の道を小川に襲って進んでゆく。

今日は大東屋の付近で高麗鍋祭りをやっているとの事で車も人もたくさん入っていて大賑わいだ。

11時49分、水車横通過。

12時、突き当りの彼岸花で有名な付近の手前空き地で昼食の準備をしていたら、ほぼ広げ終わったところで、お祭りの担当者らしき人がここは私有地なので移動を、ということで、少し戻った小川横の芝生に移動。再度設置しなおし

て開始。

まず写真のように有倉さん持参のお線香を立てて、お供え物をしてみんなで献杯。そのあとは隣の祭りの音にも負けないようなにぎやかな昼食。持ち寄りのごちそうに、美味しい豚汁も完成。川名さんのぬる燗も大好評でした。

その後はのんびりゆったりと過ごす。3時5分、出発。高麗駅に向かう。

池袋に着いて名残惜しい数名は打ち上げをして解散。

箱根組として田村藤子さんの良い追悼が出来たと思います。



○槍ヶ岳5泊6日スケジュール案 表銀座縦走コース

●一日目 7月27日（月）

新宿発（バスかJRで）穂高駅
バスかタクシーで中房温泉泊

●二日目 7月28日（火）

中房温泉→燕岳→燕山荘泊
（歩行4時間55分）

●三日目 7月29日（水）

燕山荘→大下りの頭→切通し岩→
大天井岳→大天井ヒュッテ泊
（歩行4時間40分）

●四日目 7月30日（木）

大天井ヒュッテ→西岳→水俣乗越
→ヒュッテ大槍→槍ヶ岳山荘泊
（槍ヶ岳往復は翌朝？）
（歩行6時間50分）

●五日目 7月31日（金）

槍ヶ岳山荘→大曲→槍沢ロッジ→
横尾山荘→徳沢ロッジ泊
（歩行6時間）

●六日目 8月1日（土）

徳沢ロッジ→明神→上高地
（歩行2時間）

上高地→（バス）新宿着

◎費用約7万円

（宿泊費5万円・交通費2万円）

